

計算書類に対する注記
(特定非営利活動に係る事業会計)

特定非営利法人
産業クラスター研究会
平成26年3月31日

1 重要な会計方針

(1) 資金の範囲

資金の範囲には、現金預金・前払費用・敷金・預り金及び未払い法人税等を含めることにしている。
なお、前期末及び当期末残高は下記2に記載するとおりである。

(2) 消費税及び地方消費税の会計処理

税込方式を採用している。

2 次期繰越収支差額の内容は、次の通りである

(単位:円)

科 目	前期末残高	当期末残高
現金預金	787,495	891,064
前払費用	66,308	66,308
未収金	0	840,000
敷金	364,088	144,360
合計	1,217,891	1,941,732
未払金	7,025	640,550
未払法人税等	120,000	120,000
預り金	34,464	28,832
合計	161,489	789,382
次期繰越収支差額	1,056,402	1,152,350

3 保証債務、担保提供資産はない